

電話機の設定のカスタマイズ

次の各表に示すように、設定を調整することによって Cisco IP Video Phone を個人設定できます。この情報を利用するときは、次のヒントを参考にしてください。

- ほとんどの設定を電話機で行えますが、一部の設定についてはユーザ オプション Web ページからオンラインでアクセスする必要があります。詳細については、P. 47 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。
-  (設定ボタン) が反応しない場合は、システム管理者が電話機でこのボタンを無効に設定している可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

音量の調節

次の表では、電話機の音量レベルを調節および保存する方法について説明しています。

目的	操作
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  (音量ボタン) を押します。 この操作は、現在アクティブになっているオーディオモードに対する音量レベルを調節するものです。たとえば、ハンドセットを使用しているときに音量を上げても、スピーカフォンの音量は変化しません。 現在のオーディオモードに対する新しい音量をデフォルトとして保存するには、Save を押します。ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンの音量を変更しても、それを保存しなかった場合は、次回そのオーディオモードを使用するときに、音量は前回保存されたレベルに戻ります。
呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、 (音量ボタン) を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。

アラート トーンのカスタマイズ

着信コールがあることを電話機で示す方法をカスタマイズできます。

目的	操作
アラート トーンを変更する	Settings > User Preferences > Alert Tone を選択し、電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。呼出音のタイプを選択して、そのサンプルを再生します。目的の呼出音を選択したら、 Select および Save を押します。 Cancel を押すと、前回保存したときの設定に戻ります。

モニタの明るさのカスタマイズ

スクリーンでモニタの明るさを調節できます。

目的	操作
モニタの明るさを変更する	 （明るさボタン）を押し、 Up 、 Down 、または  （音量ボタン）で明るさを調節します。 Settings > User Preferences > Monitor Brightness を選択することもできます。明るさを調節するには、 Up 、 Down 、または  （音量ボタン）を押します。その後、 Save を押します。 Cancel を押すと、前回保存したときの設定に戻ります。

短縮ダイヤル番号の設定

短縮ダイヤル番号を使用すると、電話をかけるたびに実際の電話番号を入力する必要はないので、電話番号をすばやくダイヤルできます。たとえば、頻繁にかける電話番号を短縮ダイヤル番号として割り当てることができます。回線メニューに短縮ダイヤルのリストが表示されます。

短縮ダイヤルを使用するには、次の手順を実行します。

ステップ 1  (回線ボタン) を押します。

ステップ 2 回線メニューで短縮ダイヤルを選択します。その短縮ダイヤルに電話機からコールが発信されます。

次の表に示すように、短縮ダイヤルはユーザ オプション Web ページで設定します。



(注) システム管理者は電話機に短縮ダイヤルを割り当てることができます。また、個人設定できる短縮ダイヤルの数を制限することもできます。

目的	操作
短縮ダイヤル番号を電話機に追加する	ユーザ オプション Web ページにログインし、デバイスを選択して、メインメニューから 【短縮ダイヤルの追加または更新】 を選択します。 【電話の短縮ダイヤル設定】 セクションで、利用可能な短縮ダイヤル ボタンごとに電話番号とラベルを入力します。電話番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じ番号を入力します。たとえば、必要に応じて「9」などのアクセスコードや地域コードを入力します。 入力したラベルは、スクリーンの短縮ダイヤル ボタンの横に表示されます。
固定短縮ダイヤル機能で使用する短縮ダイヤル番号を追加する	ユーザ オプション Web ページにログインし、デバイスを選択して、メインメニューから 【短縮ダイヤルの追加または更新】 を選択します。 【電話の短縮ダイヤル設定】 で、利用可能な短縮ダイヤル ボタンごとに電話番号とラベルを入力します。電話番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じ番号を入力します。たとえば、必要に応じて「9」などのアクセスコードや地域コードを入力します。

ヒント

上記のいずれかの短縮ダイヤル方式でコールを発信する場合、その詳細については、P. 21 の「ビデオコールの発信」を参照してください。